



Innovation by Chemistry

2021年3月期第1四半期決算の概要

2020年8月7日

東レ株式会社

2021年3月期の第1四半期から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。また比較年度数値についても、IFRSに準拠して表示しております。

目次

I . 2021年3月期第1四半期決算の概要	3
II . 2021年3月期連結業績見通し	18
III . 参考資料	22

I . 2021年3月期第1四半期決算の概要

2021年3月期第1四半期連結損益概要

億円

	20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減
売上収益	5,132	3,976	-1,156 (-22.5%)
事業利益	345	125	-220 (-63.7%)
(売上収益事業利益率)	6.7%	3.1%	-3.6 ポイント
非経常項目	▲ 9	▲ 30	-21
金融収益及び費用	▲ 0	5	+5
持分法による投資利益	29	30	+1
税引前四半期利益	364	130	-234 (-64.3%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	256	95	-161 (-63.0%)

為替レート	(20/3 1Q)	(21/3 1Q)
<円/US\$> 期中平均	109.9	107.6
	107.8	107.7
<円/ユーロ> 期中平均	123.5	118.5
	122.5	121.1

非経常項目

億円

	20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減
固定資産売却益	1	1	-0
固定資産処分損	▲7	▲9	-2
減損損失	▲2	▲22	-20
その他	▲1	-	+1
非経常項目	▲9	▲30	-21

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	20年3月末	20年6月末	増減
資産合計	27,335	27,243	-93
流動資産	11,519	11,380	-139
有形固定資産	9,692	9,712	+20
その他	6,124	6,151	+27
負債合計	15,327	15,205	-121
流動負債	6,760	6,525	-235
非流動負債	8,567	8,681	+114
資本合計	12,008	12,037	+29
自己資本*	11,161	11,206	+46
自己資本比率*	40.8%	41.1%	+0.3ポイント
有利子負債残高	9,910	10,258	+348
D/Eレシオ	0.89	0.92	+0.03

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	485	595	+110
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 403	▲ 343	+60
フリー・キャッシュ・フロー	82	252	+170

* 自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

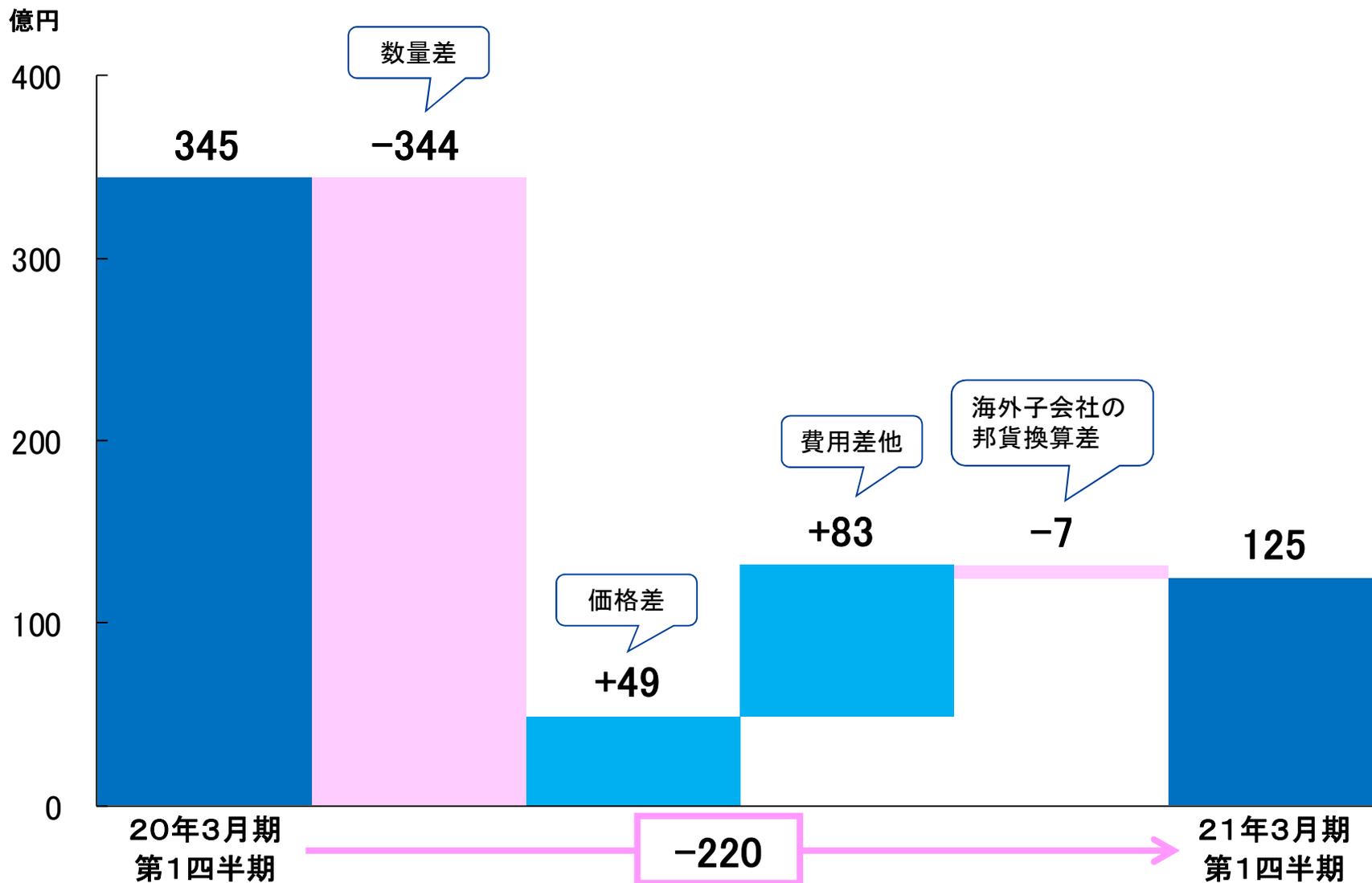
億円

	20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減	21年3月期 見通し
設備投資額	268	292	+24	1,430
東レ	52	25	-27	350
連結子会社	216	267	+51	1,080
減価償却費	293	293	-1	1,170
東レ	93	96	+3	390
連結子会社	200	197	-4	780
研究開発費	164	150	-13	680
東レ	118	112	-6	520
連結子会社	45	38	-7	160

主な設備投資案件

Toray Industries Hungary Kft.	: バッテリーセパレータフィルム“セティーラ®”生産設備
Toray Plastics (America), Inc.	: ポリプロピレンフィルム生産設備
Toray Plastics (Malaysia) Sdn. Berhad	: ABS樹脂生産設備

事業利益増減要因分析



セグメント別売上収益・事業利益

億円

		20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減	
売上 収益	繊維	1,958	1,450	-508	(-25.9%)
	機能化成品	1,975	1,556	-419	(-21.2%)
	炭素繊維複合材料	615	454	-161	(-26.2%)
	環境・エンジニアリング	418	372	-47	(-11.2%)
	ライフサイエンス	125	116	-9	(-7.5%)
	その他	42	29	-13	(-30.7%)
	合計	5,132	3,976	-1,156	(-22.5%)
事業 利益	繊維	145	72	-73	(-50.3%)
	機能化成品	169	81	-88	(-51.9%)
	炭素繊維複合材料	64	17	-47	(-73.4%)
	環境・エンジニアリング	14	8	-5	(-40.0%)
	ライフサイエンス	5	1	-4	(-87.5%)
	その他	4	1	-3	(-68.7%)
	調整額	▲ 56	▲ 55	+1	
	合計	345	125	-220	(-63.7%)

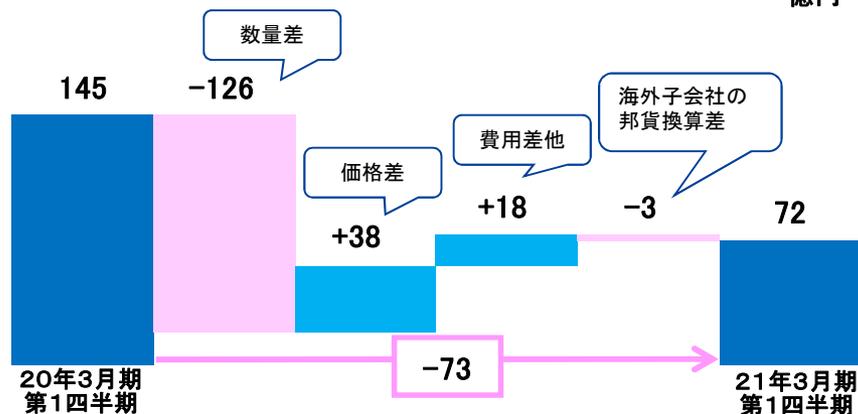
セグメント別業績(繊維)

億円

		20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	453	329	-124 (-27.3%)
	国内	1,050	822	-228 (-21.7%)
	海外	1,211	853	-358 (-29.6%)
	修正	▲ 756	▲ 554	+202
	計	1,958	1,450	-508 (-25.9%)
事業利益	東レ	35	12	-23 (-66.0%)
	国内	26	12	-14 (-55.1%)
	海外	88	55	-33 (-37.6%)
	修正	▲ 3	▲ 6	-3
	計	145	72	-73 (-50.3%)

事業利益増減

億円



<概況>

■全般

- ・国内外ともに新型コロナウイルスによる生産活動・消費行動停滞の影響を受けた。
- ・医療用白衣地やマスク用途での不織布需要の増加はあったが、総量の減少をカバーするにはいたらず。

■衣料用途

- ・各国でのロックダウンや販売店舗の閉鎖から需要が減退。

■産業用途

- ・主力となる自動車関連用途において、自動車メーカーの稼働停止や生産台数低下の影響から販売数量が減少。

<トピックス>

- ・ 20年4月：
日本国内向けに、マスク用不織布の供給体制を強化・拡充。

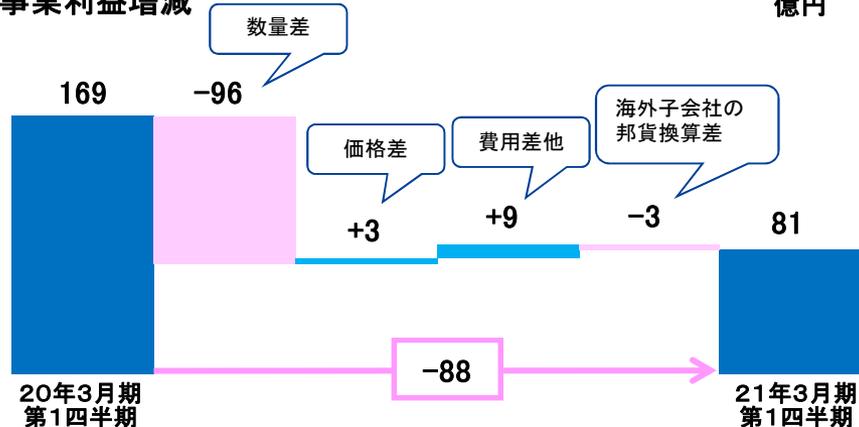
セグメント別業績(機能化成品)

億円

		20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	578	462	-116 (-20.0%)
	国内	1,080	889	-191 (-17.7%)
	海外	1,256	977	-279 (-22.2%)
	修正	▲ 940	▲ 772	+168
	計	1,975	1,556	-419 (-21.2%)
事業利益	東レ	37	19	-17 (-47.2%)
	国内	43	11	-32 (-74.8%)
	海外	88	55	-34 (-38.1%)
	修正	0	▲ 4	-4
	計	169	81	-88 (-51.9%)

事業利益増減

億円



< 概況 >

■全般

・新型コロナウイルスによる生産活動停滞の影響を受けた。

■樹脂事業

・国内外で自動車用途および一般産業用途の需要が減少。

■ケミカル事業

・基礎原料の市況下落の影響を受けた。

■フィルム事業

・内食需要の高まりから包装材料用途が堅調に推移したものの、リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムおよびポリエステルフィルムの各用途において需要が低調に推移。

■電子情報材料事業

・有機EL関連の生産稼働低下の影響を受けた。

<トピックス>

・ 20年4月:

患者の負担軽減に繋がるX線シンチレータパネルの輝度向上新技術を開発。本技術を適用したX線シンチレータパネルは、2020年度初めから販売開始。

・ 20年5月:

土浦工場における二軸延伸ポリプロピレンフィルムトレファン®の生産能力増強を決定。2022年稼働開始予定。

機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

	20年3月期 第1四半期		21年3月期 第1四半期		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	843	29%	597	26%	-29%
フィルム	812	28%	709	30%	-13%
電子情報材料	162	6%	146	6%	-10%
商事他	1,097	38%	877	38%	-20%
修正	▲ 940	-	▲ 772	-	-
合計	1,975		1,556		-21%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

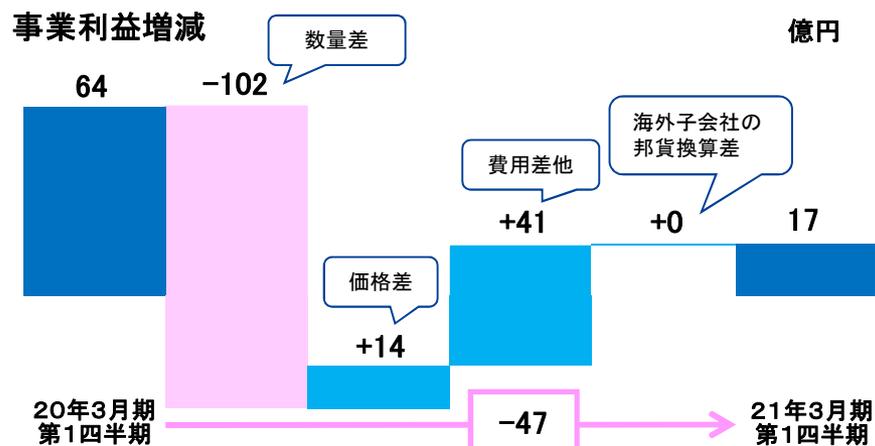
億円

		20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東シ	281	206	-75 (-26.6%)
	国内	198	141	-57 (-28.6%)
	海外	546	351	-195 (-35.8%)
	修正	▲ 410	▲ 244	+166
	計	615	454	-161 (-26.2%)
事業利益	東シ	31	16	-15 (-48.0%)
	国内	5	5	+0 (+6.8%)
	海外	35	▲ 1	-36 (-)
	修正	▲ 6	▲ 3	+3
	計	64	17	-47 (-73.4%)

< 概況 >

■全般

- 一般産業用途では、風力発電翼用途や筐体用途が堅調に推移したが、航空宇宙用途において、大型旅客機のビルドレートが減少した影響を受けた。



炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

	20年3月期 第1四半期		21年3月期 第1四半期		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	292	47%	174	38%	-40%
スポーツ	49	8%	32	7%	-36%
一般産業	274	45%	249	55%	-9%
合計	615		454		-26%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	62	59	-3 (-4.4%)
	国内	473	419	-54 (-11.5%)
	海外	92	91	-1 (-1.0%)
	修正	▲ 210	▲ 198	+11
	計	418	372	-47 (-11.2%)
事業利益	東レ	▲ 5	2	+8 (-)
	国内	3	▲ 8	-10 (-)
	海外	15	15	-1 (-4.0%)
	修正	1	▲ 1	-2
	計	14	8	-5 (-40.0%)

< 概況 >

■水処理事業

・一部地域への出荷において新型コロナウイルスの影響があったが、逆浸透膜などの需要は概ね堅調に推移。

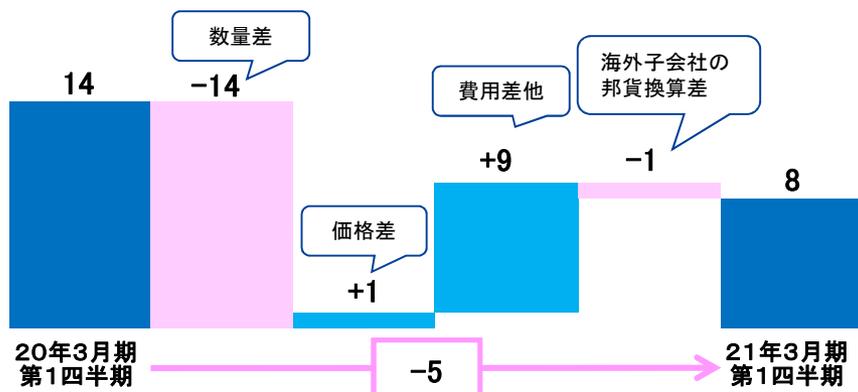
■国内子会社

・建設子会社が新型コロナウイルス感染予防として工事中断の影響を受けた。

・エンジニアリング子会社でエレクトロニクス関連装置の出荷が減少。

事業利益増減

億円



セグメント別業績(ライフサイエンス)

億円

		20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	67	61	-7 (-9.8%)
	国内	93	90	-3 (-2.8%)
	海外	33	29	-4 (-13.3%)
	修正	▲ 68	▲ 64	+4
	計	125	116	-9 (-7.5%)
事業利益	東レ	1	▲ 1	-2 (-)
	国内	0	2	+2 (-)
	海外	1	1	+0 (+60.3%)
	修正	3	▲ 1	-4
	計	5	1	-4 (-87.5%)

< 概況 >

■医薬事業

・経口そう痒症改善薬レミッチ®*において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、本年4月の大幅な薬価改定の影響を受けた。

■医療機器事業

・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療機関での不急の手術先送りの影響がある中、ダイアライザーは国内外で堅調な出荷となった。

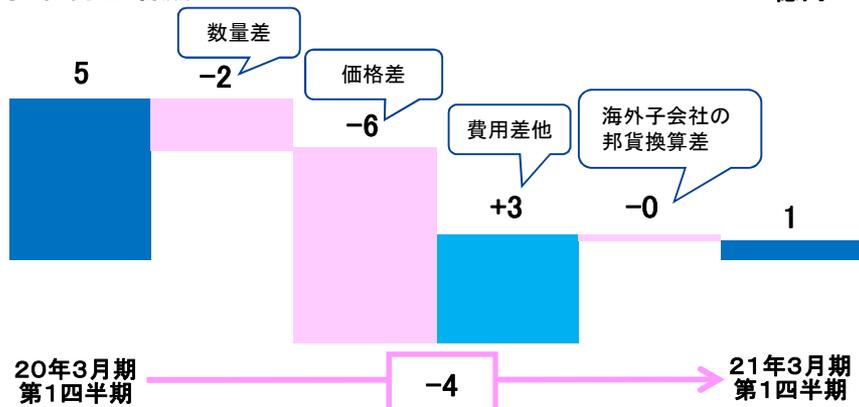
<トピックス>

・20年4月：
エンドキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器トレミキシン®について、カナダにおける新型コロナウイルス感染症の治療に対する暫定的な使用許可をカナダ保健省より取得。

*レミッチ®は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

事業利益増減

億円



主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益		
	20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減	20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	増減
東レインターナショナル	1,396	1,111	-285	29	19	-10
東レエンジニアリング	234	175	-59	4	▲ 6	-10
東レ建設	82	55	-27	▲ 2	▲ 4	-2
東レフィルム加工	93	93	-1	5	8	+2

在東南アジア・子会社	繊維	347	187	-159	14	▲ 12	-27
	機能化成品	232	154	-78	19	14	-5
	その他	0	0	-0	0	0	-0
	計	579	341	-237	33	2	-31

在中国・子会社	繊維	506	401	-105	56	49	-7
	機能化成品	217	189	-28	7	10	+2
	その他	91	90	-2	7	8	+1
	計	815	680	-135	71	67	-4

在韩国・子会社	繊維	208	182	-26	5	28	+23
	機能化成品	405	327	-78	57	45	-13
	その他	75	50	-26	12	8	-4
	計	688	558	-130	74	81	+6

Ⅱ. 2021年3月期連結業績見通し

2021年3月期連結業績見通し

新型コロナウイルスの影響を踏まえた業績見通しの前提

新型コロナウイルスの感染拡大が第2四半期にピークアウトし、第3四半期以降年度末にかけて、国内外の経済は緩やかな回復基調を辿ることを前提としている。

億円

		20年3月期 実績	21年3月期 見通し	増減	期初見通し*	期初見通し との差異
売上収益	上期	10,591	8,300	-2,291 (-21.6%)	8,800	-500
	下期	10,321	10,100	-221 (-2.1%)	10,400	-300
	通期	20,912	18,400	-2,512 (-12.0%)	19,200	-800
事業利益	上期	714	250	-464 (-65.0%)	250	—
	下期	541	450	-91 (-16.8%)	450	—
	通期	1,255	700	-555 (-44.2%)	700	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	509	180	-329 (-64.6%)	180	—
	下期	333	220	-113 (-34.0%)	220	—
	通期	842	400	-442 (-52.5%)	400	—
基本的 1株当たり 当期利益	上期	31.82円	11.25円	為替レートの前提 105円/US\$	* 期初見通し: 2020年5月28日公表値	
	下期	20.83円	13.75円			
	通期	52.65円	24.99円			
1株当たり 配当金	上期	8.00円	4.50円			
	下期	8.00円	4.50円			
	通期	16.00円	9.00円			
配当性向	通期		36%			

セグメント別連結業績見通し

		20年3月期実績			21年3月期見通し			増減			億円 期初見通し との差異*
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
売上 収益	繊維	4,223	4,087	8,310	3,150	3,700	6,850	-1,073	-387	-1,460	-400
	機能化成品	3,941	3,671	7,612	3,100	3,750	6,850	-841	+79	-762	-650
	炭素繊維複合材料	1,199	1,170	2,369	900	1,050	1,950	-299	-120	-419	+100
	環境・エンジニアリング	872	1,036	1,908	820	1,250	2,070	-52	+214	+162	+170
	ライフサイエンス	266	265	530	250	280	530	-16	+15	-0	+20
	その他	90	92	182	80	70	150	-10	-22	-32	-40
	合計	10,591	10,321	20,912	8,300	10,100	18,400	-2,291	-221	-2,512	-800
事業 利益	繊維	317	279	596	130	190	320	-187	-89	-276	-50
	機能化成品	332	213	545	200	360	560	-132	+147	+15	-30
	炭素繊維複合材料	118	108	226	▲ 20	▲ 60	▲ 80	-138	-168	-306	+40
	環境・エンジニアリング	38	68	106	35	105	140	-3	+37	+34	+40
	ライフサイエンス	11	▲ 6	5	0	0	0	-11	+6	-5	—
	その他	14	22	36	5	15	20	-9	-7	-16	-10
	調整額	▲ 115	▲ 143	▲ 258	▲ 100	▲ 160	▲ 260	+15	-17	-2	+10
	合計	714	541	1,255	250	450	700	-464	-91	-555	—

* 期初見通し: 2020年5月28日公表値

セグメント別事業利益の期初見通しとの差異

セグメント	通期事業利益(億円) 期初見通し*→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	370→320 (-50)	新型コロナウイルスの影響により、衣料用途・自動車用途を中心に流通在庫の調整に時間がかかり、需要回復のペースは期初の想定よりも緩やかにとどまる見込み。 PPスパンボンドは、衛材用途・マスク用途での需要が堅調に推移すると見込む。
機能化成品	590→560 (-30)	商事子会社が1Qに貸倒引当金を計上したため、当社業績にも反映。 電子情報材料事業は、新型コロナウイルスや米中貿易摩擦の影響による有機EL関連材料や回路材料の販売量減少を見込む。
炭素繊維 複合材料	▲120→▲80 (+40)	風力発電翼向けの出荷が堅調に推移すると見込む。 原料価格の下落を見込むとともに、コスト削減を推進する。
環境・ エンジニアリング	100→140 (+40)	エアフィルターの需要拡大を見込む。 エンジニアリング子会社は、半導体関連装置等エレクトロニクス関連装置の増販を見込む。
ライフサイエンス	0→0 (±0)	期初見通し通り。
その他	30→20 (-10)	
調整額	▲270→▲260 (+10)	
合計	700→700 (±0)	

* 期初見通し: 2020年5月28日公表値

III. 參考資料

2020年3月期第1四半期 IFRS適用に伴う影響

億円

20年3月期第1四半期 実績				差異	主な差異の内容
日本基準		IFRS			
売上高	5,442	売上収益	5,132	-310	代理人取引の純額表示、収益認識時点の変更
営業利益	345	事業利益	345	-1	のれんの非償却、営業外収支の組替
税前利益	328	税引前 四半期利益	364	+36	のれんの非償却、投資有価証券の評価・売却損益の取消
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	226	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	256	+29	

2020年3月期第1四半期 IFRS適用に伴う影響 セグメント別

億円

		20年3月期第1四半期 実績		差異	主な差異の内容
		日本基準	IFRS		
売上高・売上収益	繊維	2,088	1,958	-131	<ul style="list-style-type: none"> ・代理人取引の純額表示 ・収益認識時点の変更
	機能化成品	2,000	1,975	-25	
	炭素繊維複合材料	615	615	+1	
	環境・エンジニアリング	574	418	-156	
	ライフサイエンス	124	125	+1	
	その他	42	42	-0	
	合計	5,442	5,132	-310	

		20年3月期第1四半期 実績		差異	差異内訳	
		日本基準	IFRS		のれん非償却	その他
営業利益・事業利益	繊維	148	145	-3	+0	-3
	機能化成品	170	169	-1	+11	-12
	炭素繊維複合材料	59	64	+5	+16	-11
	環境・エンジニアリング	14	14	-0	+1	-1
	ライフサイエンス	6	5	-1	-	-1
	その他	4	4	+1	-	+1
	調整額	▲ 55	▲ 56	-1	-	-1
	合計	345	345	-1	+28	-28

2020年3月期 IFRS適用に伴う影響

億円

20年3月期 実績				差異	主な差異の内容
日本基準		IFRS			
売上高	22,146	売上収益	20,912	-1,235	代理人取引の純額表示、収益認識時点の変更
営業利益	1,312	事業利益	1,255	-57	のれんの非償却、営業外収支の組替
税前利益	940	税引前当期利益	1,233	+293	のれんの非償却、投資有価証券の評価・売却損益の取消
親会社株主に 帰属する 当期純利益	557	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	842	+285	

2020年3月期 IFRS適用に伴う影響 セグメント別

億円

		20年3月期 実績		差異	主な差異の内容
		日本基準	IFRS		
売上高・売上収益	繊維	8,831	8,310	-522	<ul style="list-style-type: none"> ・代理人取引の純額表示 ・収益認識時点の変更
	機能化成品	7,708	7,612	-96	
	炭素繊維複合材料	2,369	2,369	-0	
	環境・エンジニアリング	2,523	1,908	-614	
	ライフサイエンス	533	530	-2	
	その他	182	182	+0	
	合計	22,146	20,912	-1,235	

		20年3月期 実績		差異	差異内訳	
		日本基準	IFRS		のれん非償却	その他
営業利益・事業利益	繊維	607	596	-11	+0	-11
	機能化成品	587	545	-42	+43	-85
	炭素繊維複合材料	210	226	+16	+63	-47
	環境・エンジニアリング	112	106	-7	+3	-10
	ライフサイエンス	16	5	-11	-	-11
	その他	34	36	+2	-	+2
	調整額	▲ 255	▲ 258	-4	-	-4
	合計	1,312	1,255	-57	+109	-166

セグメント別四半期売上収益推移

IFRS

億円

	20年3月期					21年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
繊維	1,958	2,265	2,190	1,897	8,310	1,450
機能化成品	1,975	1,966	1,879	1,792	7,612	1,556
炭素繊維複合材料	615	584	596	573	2,369	454
環境・エンジニアリング	418	454	432	605	1,908	372
ライフサイエンス	125	141	138	127	530	116
その他	42	49	41	51	182	29
合計	5,132	5,458	5,275	5,046	20,912	3,976

セグメント別四半期事業利益推移

IFRS

億円

	20年3月期					21年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
繊維	145	172	163	116	596	72
機能化成品	169	164	138	75	545	81
炭素繊維複合材料	64	54	63	45	226	17
環境・エンジニアリング	14	24	17	51	106	8
ライフサイエンス	5	6	6	▲ 11	5	1
その他	4	9	7	15	36	1
調整額	▲ 56	▲ 59	▲ 66	▲ 77	▲ 258	▲ 55
合計	345	370	327	214	1,255	125

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

IFRS

億円

	20年3月期					21年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
樹脂・ケミカル	843	796	809	755	3,204	597
フィルム	812	808	795	754	3,169	709
電子情報材料	162	193	174	144	674	146
商事他	1,097	1,002	996	980	4,074	877
修正	▲ 940	▲ 833	▲ 895	▲ 840	▲ 3,508	▲ 772
合計	1,975	1,966	1,879	1,792	7,612	1,556

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

IFRS

億円

	20年3月期					21年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
航空宇宙	292	265	268	254	1,078	174
スポーツ	49	42	44	35	170	32
一般産業	274	278	284	284	1,120	249
合計	615	584	596	573	2,369	454

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

IFRS

億円

		20年3月期					21年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
東レインターナショナル		1,396	1,526	1,583	1,251	5,755	1,111
東レエンジニアリング		234	266	261	367	1,127	175
東レ建設		82	101	81	169	434	55
東レフィルム加工		93	99	96	87	375	93
在東南アジア・ 子会社	繊維	347	356	335	319	1,357	187
	機能化成品	232	215	217	190	854	154
	その他	0	0	0	1	2	0
	計	579	571	553	509	2,212	341
在中国・ 子会社	繊維	506	608	563	375	2,051	401
	機能化成品	217	191	204	165	777	189
	その他	91	87	103	67	348	90
	計	815	886	870	606	3,177	680
在韩国・ 子会社	繊維	208	206	215	214	843	182
	機能化成品	405	427	427	366	1,625	327
	その他	75	72	66	53	266	50
	計	688	705	708	633	2,734	558

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

IFRS

億円

		20年3月期					21年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
東レインターナショナル		29	36	36	28	129	19
東レエンジニアリング		4	7	5	20	36	▲6
東レ建設		▲2	1	▲2	10	6	▲4
東レフィルム加工		5	7	8	5	26	8
在東南アジア・ 子会社	繊維	14	13	14	5	48	▲12
	機能化成品	19	12	15	16	63	14
	その他	0	0	0	0	0	0
	計	33	26	30	22	110	2
在中国・ 子会社	繊維	56	58	51	30	195	49
	機能化成品	7	7	9	8	32	10
	その他	7	7	6	2	23	8
	計	71	72	66	41	250	67
在韩国・ 子会社	繊維	5	8	10	7	30	28
	機能化成品	57	68	64	44	233	45
	その他	12	10	5	6	34	8
	計	74	86	79	57	296	81

ESGに関する社外からの評価

■ CDP



WATER

2020年2月 Climate Change: A- Water Security: A

■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM ●●

2019年9月

「Dow Jones Sustainability Index(DJSI)」のAsia Pacific



FTSE4Good

2019年7月

「FTSE4Good Index Series」

2020 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2020年7月

「MSCI ESG Leaders Indexes」

■ GPIFが採用する4つのESG指数全ての構成銘柄に選定

S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数



FTSE Blossom
Japan

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

**本資料中の2021年3月期の業績見通し及び
事業計画についての記述は、現時点における
将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。**

**本資料において当社の将来の業績を保証する
ものではありません。**

TORAY

Innovation by Chemistry